

令和5年度

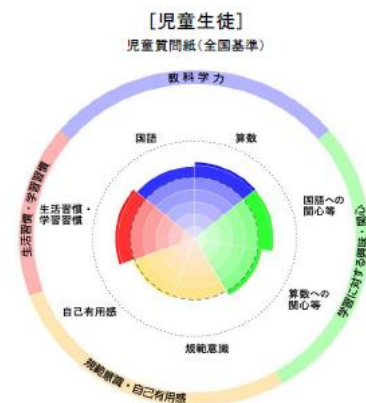
横浜市立みたけ台小学校

全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年10月

4月18日に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校の調査結果についてお知らせします。

平均正答率	国語	算数
みたけ台小学校	73%	72%
神奈川平均	66%	63%
全国平均	67.2%	62.5%



○国語について

〈成果〉

「話すこと」では、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができていることがわかりました。

〈課題と指導改善のポイント〉

「書くこと」では、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

必要に応じて、教師が図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると自分にとって考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感できるように指導していきます。

○算数について

〈成果〉

算数は、どの学習領域や観点において、全国、神奈川県の前平均正答率を上回ることができました。特に、「図形」と「変化と関係(比例)」には、平均正答率を大きく上回りました。

〈課題と指導改善のポイント〉

「図形」では、高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大きさを判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がありました。

具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決するために必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導していきます。

○規範意識・自己有用感

規範意識、自己有用感共に全国平均よりも高い値が出ています。「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童の割合が、平均より10%近く高い値となりました。また、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童は20%上回る結果となりました。これからも児童の意識や自信を高めることができるよう、支援を続けていきます。

○生活習慣・学習習慣

生活習慣、学習習慣共に全国平均よりもかなり高い値が出ています。生活リズムが安定し、平日の家庭での学習時間が1時間以上確保されている児童が半数以上に上ることがわかりました。また、学校が休みの日には家庭での学習時間は減少しており、メリハリがつけられていることもわかりました。家庭との連携を密にとり、児童が心身共に健康に過ごすことが出来るようにしていきます。